

## 岩手県金融経済概況（2021年4月）

### 1. 概 況

県内経済は、サービス消費を中心に引き続き厳しい状態にあるが、基調としては持ち直している。

最終需要の動きをみると、公共投資は、減少に転じつつある。設備投資は、一部の業種に弱めの動きがみられるものの、持ち直しつつある。個人消費は、持ち直しの動きが一服している。住宅投資は、減少ペースが緩和している。

この間、生産は、増加傾向にある。雇用・所得環境は、弱い動きが続いている。消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回った。

### 2. 最終需要

#### (1) 個人消費

個人消費は、財消費が総じてみれば堅調である一方、サービス消費は引き続き厳しい状態にあり、持ち直しの動きが一服している。

百貨店売上高（全店舗ベース；2021年3月）は、5ヵ月振りに前年を上回った（前年比+11.5%）。

スーパー売上高（全店舗ベース；2021年3月）は、3ヵ月連続で前年を上回った（前年比+0.5%）。

新車登録・届出台数（乗用車＜含む軽＞；2021年4月）は、2ヵ月連続で前年を上回った（前年比+25.1%）。

この間、サービス消費は、新型コロナウイルス感染症の影響から飲食・宿泊を中心に引き続き厳しい状態にある。

#### (2) 建設投資（公共投資、住宅投資、設備投資）

公共工事請負金額（2021年4月）は、3ヵ月連続で前年を下回った（前年比△41.0%）。

新設住宅着工戸数（2021年3月）は、3ヵ月振りに前年を下回った（前年比△27.1%）。

—— 持家（前年比△12.3%）は3ヵ月振りに前年を下回った。貸家（同△43.6%）は7ヵ月連続で前年を下回った。分譲（同△56.3%）は3ヵ月振りに前年を下回った。

民間設備投資（2021年3月短観ベース；2021年度計画）は、前年を上回る計画（前年比+30.4%）となっている。

—— 製造業（前年比+44.5%）では、前年度から先送りされた投資案件の実行や、半導体関連の能増投資等により、前年度比増加する計画となっているほか、非製造業（同+13.8%）についても、老朽化した設備の維持更新等の案件により増加する計画となっている。

県内の官民建設工事全体の出来高総計（2021年3月）は、2ヵ月連続して前年を上回った（前年比+1.2%）。

### 3. 生産動向

生産は、増加傾向にある。

鉱工業生産指数（季節調整値；2021年3月）は、2ヵ月振りに前月を上回った（前月比+7.2%）。

—— 主な業種の動きをみると、電子部品・デバイス、生産用機械が低下した一方、食料品、輸送機械、はん用機械が上昇した。

なお、四半期の動きをみると、2021/1～3月は3期連続で前期を上回った（2020/4～6月：前期比△10.7%、7～9月：同+1.2%、10～12月：同+11.1%、2021/1～3月：同+5.6%）。

### 4. 雇用・所得動向

雇用・所得環境は、弱い動きが続いている。

有効求人倍率（季節調整値；2021年4月）は、1.16倍と前月を上回った（2021年3月：1.15倍）。

雇用保険被保険者数（民間企業中心の全数調査；2021年4月）は、16ヵ月連続で前年を下回った（前年比△0.3%）。

雇用者所得（県内合計値；2021年3月）は、常用雇用指数（前年比+0.2%）が前年を上回ったものの、名目賃金指数（同△1.7%）が前年を下回ったことから、9ヵ月連続で前年を下回った（同△1.5%）。

## 5. 物価

消費者物価指数（除く生鮮食品；2021年4月）は、10ヵ月振りに前年を上回った（前年比+0.2%）。

内訳をみると、光熱・水道、交通・通信などが下落した一方、諸雑費、教養娯楽などが上昇した。

## 6. 企業倒産

企業倒産（2021年4月）は、皆無となった（前年同月；3件、259百万円）。

## 7. 金融面の動向

県内民間金融機関の預金・貸出（2021年3月）については、預金、貸出とも前年を上回った。貸出約定平均金利（2021年3月）は前月に比べて上昇した。

以 上

本件に関する問い合わせ先：

日本銀行盛岡事務所 TEL：019-624-3622（代）  
ホームページアドレス <https://www3.boj.or.jp/morioka/>

<ホームページ>

